



第19回

令和2年度の消費生活相談の受け付け状況をまとめました。相談件数は1,775件で、令和元年度の1,633件に比べて142件の増加となっています。年代別にみると、60歳以上の高齢者からの相談が35%を占めています。

一方、コロナ禍による在宅で過ごす時間の増加が一因となり、40代、50代からの相談が前年度より109件増加しました。

相談内容で特に多く寄せられ

令和2年度に寄せられた相談の状況をお伝えします

市民・消費生活相談室 (☎354-8147 FAX354-8452)

たのは、「お試しのつもりで申し込んだが、実際は4回の定期購入が条件だった。解約したい」といった、サプリメントなどの健康食品や化粧品の定期購入に関する相談でした。

相談内容別でも、健康食品の相談は、年代を問わずありました。他には、身に覚えのない請求の通知や宅配業者を装った偽のメールが届いたといった相談や、インタ



ーネットを介した情報商材や副業などのもうけ話に関する相談が寄せられました。

相談状況について、詳しくは市ホームページ「市民の方」→「安心安全」→「消費生活相談」でご覧いただけます。事例を知って、悪質商法の被害を未然に防ぎましょう。

契約トラブルのご相談は
相談専用電話 354-8264
(平日9:00~12:00・13:00~16:00)



第61回

天文、宇宙という単語から最もビジュアル的に連想されやすい星は、土星ではないでしょうか。土星は、地球と同じように、太陽の周りを回る惑星の仲間です。美しい環が特徴的で、この秋、夕方南の空で見頃を迎えます。

ただし、この環はいつでも見られるわけではありません。土星と地球がそれぞれ太陽の周りを回る中で、お互いの位置関係が変化し、土星の見え方まで変

土星の環を見逃すな！

博物館・プラネタリウム (☎355-2700 FAX355-2704)



わってしまいます。

土星は非常に大きく、本体の直径が地球の約9倍。さらに環の直径は、地球の約20倍もあります。しかし、環は非常に薄く、厚さが100m程度しかありません。そのため、地球との位置関係で、土星が真横を向いてしまうと、環が完全に見えなくなってしまうと、環が完全に見えなくなってしまうと、環の消失現象といいます。この現象は約15年に一度起こり、次が4年後です。

これから2025年まで、土星の環は傾き毎年少しずつ横になり、見えづらくなっていきます。そこで、ぜひ今年うちに、望遠鏡で土星を観察してみましょ。条件が良ければ、きらら号の望遠鏡で、環の隙間「カッシーニの間隙」に「感激」できるのではないのでしょうか。

博物館主催スターウォッチング
「巨大惑星を見よう」 カッシーニの間隙
時 10月23日(土) 18:30~20:00
所 市民公園



有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です

建労 四日市支部
随時加入者募集中

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

建労四日市支部のホームページを開設しました

下記URLまたはQRコードからご覧いただけます。
<https://www.kenro-yokkaichi.jp/>



三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。